

申請先：財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「BPM製品 PF準拠確認チェックリスト」

APPLIC 登録番号： ★APPLICで記載

(1) 対象標準とバージョン

・プラットフォーム通信標準仕様V2.0 ・アーキテクチャ標準仕様V2.0

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日)：

(b) 申請区分(新規、修正、破棄)：

(c) 申請者

団体名： ★識別キー項目1

団体のURL： (識別キー項目3つで
ユニークになるように
申請者が指定する)

APPLIC会員番号：

(d) 製品情報

製品説明のURL： ★識別キー項目2

代表製品名：

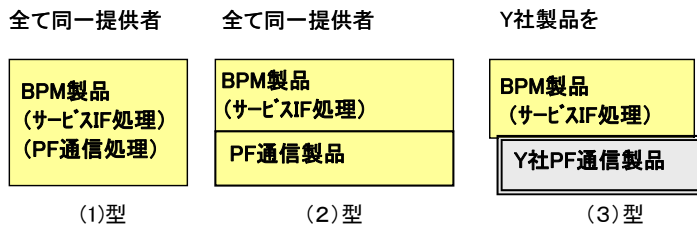
複数製品で構成する場合追記：

製品識別情報(バージョン等)： ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日)：

対応OS：

製品の形態((1)型から(3)型)：



前提となるPF通信製品
前提PF通信製品名： ※1
前提PF通信製品名： ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※： 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること
◎：対応、○：制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)↓

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内・外共通	
			製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	
1-1	HTTP通信(IPv4、HTTP1.1)を行えること (CS-R020001、CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1、document/literal、WS-Iベージックプロファイル1.0)を行えること (CS-R020003、CS-R020004)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインターフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	標準仕様書で定義するメッセージ交換パターンに対応できること (CS-R060001～CS-R060005、CS-R060006、CS-R060007、CS-R060009)	必須	◎	
2	プラットフォーム通信標準仕様第4章「プラットフォーム通信標準のビジネスプロセス制御定義仕様」における機能要件を満たす。	必須	◎	

【付録3】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「サービス基盤」

2-1	BPM機能は、WS-BPELに準拠した以下の機能要件を満たすこと ・WS-BPEL V2.0に準拠していること (CS-R040001) ・サービス呼出I/F に関するreceive、reply、invoke (CS-R040003) ・実行制御に関するsequence、flow、if、while (CS-R040004) (ただし、V1.0の場合は、linkがあるflowは対応できなくてもよい) ・throw (CS-R040005) ・変数処理に関するassign (CS-R040006) ・fault Handler (CS-R040007) ・コリレーションセット (CS-R040008) ・XML の部分データを変数に割り当てるためのXPath 1.0 (CS-R040010)	必須	◎	
備考欄(前提事項や制限事項)				